

介護技術を「言語化」する

— リーダー層に求められるものとは — 【講義・演習】

▽日時／2026 年 3 月 6 日(金)10:00-16:00

(受付9:30～)

▽会場／千葉市社会福祉研修センター研修室

(千葉市ハーモニープラザ B 棟2階)

▽募集定員／ 12 名(先着順)

▽受講資格／過去 3 年以内に当センターの技術向上研修に参加している方。(厳守)

▽受講料／無料

▽持参するもの／筆記用具

▽注意事項／介護実技メインではありませんが、実技確認場面が発生する場合がありますので、服装・靴等をご配慮ください。

▽申込方法／指定申込用紙に必要事項をご記入の上、FAX・メールにてお申し込みください。

HP からもお申込可能です。

【本研修は資格要件を満たす方のみご参加いただけます。予めご了承ください】

研修の方向性

中途半端な「やり方」を伝えるだけでは、利用者本位も職員の育成からも遠ざかるリスクが伴います。

介護現場で提供する専門職(プロ)の『技術』は原理原則の上に、アセスメントに基づく個別支援として提供されます。新規採用職員に対して根拠なき指導が展開されますと、腰痛の発生や事故の発生要因を高める原因となりますし、介護事故リスクも高まります。本研修では参加される皆様個々の技術に関して、言語化して指導するポイントを再確認していただきます。なお、今回の研修では、移動・移乗に関する場面を中心に課題設定を行う予定です。

過去の受講者の声 (抜粋)

思った以上に書けない自分がいた。これでは指導以前化も・・・

伝える伝え方をしていなかった。「こうやってね」ではだめなんですよね・・・

自分の言っていることとやっている姿の違いに驚いた。技術と思考と視点・・・やるべきことは多い。

主催 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会

千葉市社会福祉研修センター

TEL 043(209)8841 FAX 043(312)2943 担当 山村